

# 中田かわら版 3月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会  
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所  
横浜市踊場地域ケアプラザ

## 非常時に情報活動 「横浜市泉アマチュア無線クラブ」



阪神大震災（1995年）、2011年3月の東日本大震災による地震、津波の被害など、まだ記憶に新しいところだ。こういう時、話題になるのがアマチュア無線で活躍する人たちである。ところで普段、私たちがアマチュア無線、と言っている正式名称は——横浜市泉アマチュア無線、非常通信協力会 泉区支部（JL1YIC）と呼ばれ、黄緑のジャケットがシンボルカラー。小・中学校や地域で行われている防災訓練、講習会、各種イベントでその勇姿を見かけた人は多いと思う。

泉区に誕生したのは昭和 61 年（1986 年）、戸塚区から分区したとき。この横浜市泉アマチュア無線クラブ会長を務めるのが無線歴 50 年の川畑正司さん（66 歳）。何しろ高校生の時から無線の虫だったとか。また、その肩書きがすごい。日本アマチュア無線連盟会員、横浜市アマチュア無線非常通信協力会理事、同協力会・泉区支部長など。現在、会員 37 人のメンバーと共に 24 時間態勢で活躍している。例えば、横浜市内で震度 3 以上の場合、各自の携帯電話に警報が鳴り、キャッチした人はすぐさまメンバーと連絡を取りあい、情報交換を行うという具合である。また、小・中学校や地域で行われる防災訓練、講演会は年間 10 回以上出動、無線機の使い方、被災地での写真の展示や、そこでの活動ぶりなども紹介している。

泉区役所には非常時に備え、3 階の総務局が情報収集のキーステーションに、区内 23 の拠点に無線局が配置されている。アマチュアと言っても特殊な技能が必要であり、いずれも厳しい国家試験に合格しなければならない。資格には 1 級から 4 級まであり、泉区のメンバーでは 15 人の 1 級取得者がいる。各自が独自の無線局を持っており、ちょっとした放送局ぐらいのパワーがあるとか。

このようにアマチュア無線は、いざというときは警察、消防、行政の目の届かない時こそ地域性を活かした活躍の場がある。ある意味で警察や消防署とも似ているところがあるが、川畑さんはきっぱり「私たちはあくまで無償ボランティアです。無線を通して、その精神で相互の連携を密にして精いっぱい頑張っています。」

自分たちの仕事に誇りを持ち、市民の生活を守って努力されている皆さんに、頭が下がる思いだ。なお、区内だけでも 500 人ぐらいのアマチュア無線をやっている人がいる。ぜひ仲間になって一緒にやっていきたいと、川畑さんが希望していたことも、付け加えておこう。



（編集委員 宮田貞夫）

～一人ひとりが CO<sub>2</sub> を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 4月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田（いくた）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 【さくらまつり】

日時：平成24年3月31日(日)

10:00～15:00

場所：中田小学校グラウンド

主催：中田小学校同窓会

内容：中田マーチングバンドの演奏やミニSL、フリーマーケット、模擬店など。

## 【卒業式・入学式】

卒業式

入学式

中田中学校	3月8日(金)	4月5日(金)
汲沢中学校	3月8日(金)	4月5日(金)
中田小学校	3月19日(火)	4月5日(金)
東中田小学校	3月19日(火)	4月5日(金)
葛野小学校	3月16日(土)	4月5日(金)
伊勢山小学校	3月20日(土)	4月4日(木)

- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約)4月20日(土) 11:45～踊場地域ケアプラザ
- 中田友遊会(高齢者サロン)4月11日(木) 13:30～15:00 中田町会館
- 憩いの会(宮の台サロン)4月4日(木)12:00～14:30 宮の台町内会館
- ひまわり(広町サロン)4月8日(月)13:00～15:00 広町自治会館
- 町ぐるみ健康づくり活動4月20日(土) 10:00～12:00 立場地区センター
- 中田健康づくり 毎週火曜日 10:00～11:00 白百合公園遊具広場A
- 春日健康づくり教室 4月7日・21日(日) 9:30～11:00 葛野コミュニティハウス
- 中田希望会(中途障がい者の会)4月11日・25日(木)12:30～15:00 踊場地域ケアプラザ
- 中田子育てサロン 4月12日(金) 10:15～11:45 踊場地域ケアプラザ
- 中田社協子育てサロン 4月25日(木) 10:15～11:45 葛野コミュニティハウス
- にこにこパーク(親子の広場) 毎週月・水・金・土 10:00～16:30 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り4月20日(土) 9:30～11:30 立場地区センター

## ◆難病および難病対策

厚生労働省はこのほど難病対策の見直しと新法制定に向け最終報告を発表した。医療費助成の対象疾患を現在の56から拡大する一方、これまで自己負担のなかった重症患者を含め所得に応じて全員に一定の負担を求めることなどが骨子。新制度では「患者数がおおむね人口の0.1%(約12万人)以下」などの新条件に基づいて医療費助成の対象を、従来の56から300疾患以上に拡大する。重症者の重点支援を掲げて軽症者を助成対象から外し、重症者も所得に応じて給付水準を下げる。現在、自己負担のない入院時の食事、治療薬の負担も求められるなど。

ところで、難病の定義は決まった意味はなく「治療が難しく、治らない病気」として日本では使われてきた。難病の本格的な支援は1971年、整腸剤「キノホルム」による薬害「スモン」がきっかけだった。翌72年によく「難病対策要綱」ができ①原因不明、治療方法が未確立で後遺症を残す恐れが少なくない疾患②経過が慢性にわたり、経済的問題、介護等に著しく人手を要するため家族の負担が重く、精神的にも大きい疾患\_\_\_\_を難病と整理した。なお「特定疾患」とは130疾患を重点的に研究対象とし、それ以外の352疾患と合わせて治療研究費を助成してきたが、130疾患の中でも①症例が比較的少なく全国規模で研究しないと対策が進まない②原因不明③効果的な治療法が未確立④生活面への長期にわたる支障\_\_\_\_の4要素を満たす56疾患を指す。(編集委員・宮田貞夫)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス!!